

# みんなの町の

## 議会から

2005.4 発行 No.2

加藤てるみ後援会

TEL 37-2288

FAX 37-2898

### 三月議会の報告

#### 携帯電話通信鉄塔

##### 整備計画可決される

皆さんから強い要望のありました携帯電話通信鉄塔整備が五カ年以内に実現する運びとなりました。時期的には、未定ですが三月議会の当局の答弁では、この事業に関しては、通信関係者の参入がなければできない事業ですが、現在すでに一社から申し込みがあり、町としては二社からの申し込みがあった時点で事業に取りかかりたいとの説明でありました。町では今まで国の制度を活用して平成十二年度から計画を立てて取りくんできましたが、全国的にも要望が多く順番待ちしている状態でしたが、町単独で行うこととし、予算額も九千万円計上し、この事業を行いたいとする考えであります。

事業資金については辺地債という借金をして実施することです。三月議会においてこの議案が議決されましたので、ただちに、国、県との協議を重ねながら進めていきたいとのことでした。

この地域も、年々子供達が少なくなり過疎化が進んでいます。少しでも生活環境の改善に結びついてくれればと願っているところです。



今年、鮎川の端光寺前に完成した携帯の鉄塔

### 新年度の主な仕事を

#### お知らせします

釜ヶ台道路改良(二千四百万円)  
平成十九年の国体に向けて、サッカー会場になる公園改修工事(一億三千六百万円)  
役場脇の道路改良(約九千四百万円)  
子供科学館のファンタジーシアター改修(五千万円)  
院内寒沢川橋の架け替え工事(四千三百万円)  
林道工事(二千五百万円)  
ひばり荘の改修(千五百万円)  
仁賀保中学校建設用地取得(約一千万円)  
など決定しています。

### 県道、仁賀保・矢島・館合線

#### について

三月二十四日に仁賀保町都市計画審議会が開催され、本荘・仁賀保高速線の説明がありました。それによりますと平成十九年「秋田国体」までに、現在の七号線琴浦生コン工場以北(本荘・西目側)は開通するとの説明がありました。

私からは、県道、仁賀保・矢島・館合線は、いつ頃開通するのか建設課長に質問したところ十七年度中には、舗装もやって終了させるとの県からの説明をいただいているとの事です。ただし、昨年のように災害等が発生した場合は、延びる可能性もあるかもしれないとのことでした。

### 助役など選任

次の方々が三月三十一日で任期満了になるため議会に提案され決定しました。

#### 助役

五十嵐 勝治氏

(元総務課長 六十一歳 平沢)

#### 教育委員

齋藤 育子氏

(仁賀保電気勤務 五十一歳 樋ノ口)

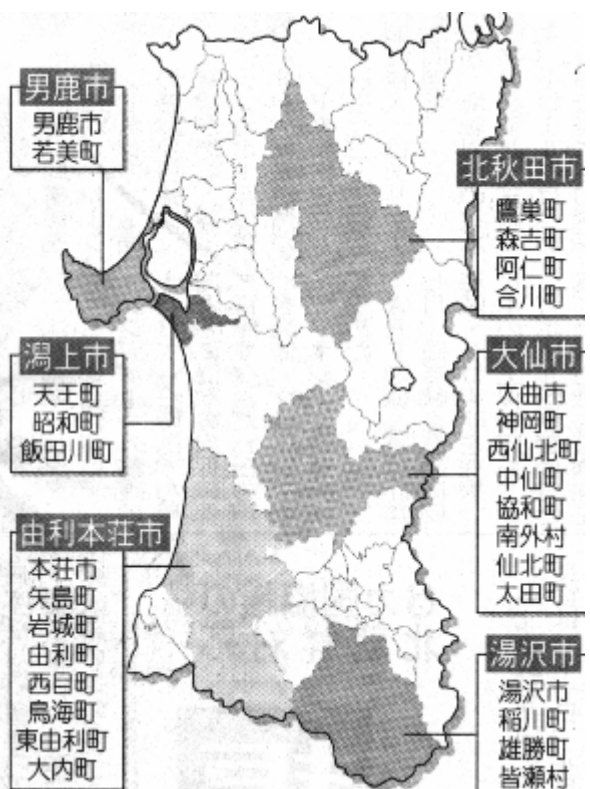
#### 固定資産評価審査委員

齋藤 和實氏

(測量技師 三十六歳 伊勢居地)

## 県議補選見送る

三月二十二日、県内で新しい市が六件誕生した。その中で由利本荘市は人口で九万人台と県内では、秋田市に次ぐ人口規模となった。行政エリアでは由利本荘市が県内最大となり、末端まで行き届いた行政運営ができるかがこれからの課題になると思う。新市の立候補予定者が現市長の柳田氏と県議の長谷部氏の戦いとなるようである。どちらにせよ、我々の関心は、県議会補選があるのかどうかと言う事である。長谷部氏が三月三十一日までに県議会に辞表を提出すれば、補選も行われると思うが今のところ長谷部氏の考えは四月に入ってから辞職のようであるからまず県議会の補選はないと見た方がいいだろう。となれば、元県議の村上氏は平成十九年四月まで力を蓄えることになるだろう。三町合併後は、県議一名の枠しかないので十九年四月の選



挙は大変激しい戦いが予想されるが、その前に自分の事を考えなければならぬ。

新市の市議会議員選挙は来年の三月下旬と予想される。多分厳しい戦いになると思われる。皆様方の絶大なるご支援をお願いします。

## 後援会会長を拝命して

平成十七年一月、釜ヶ台多目的集会施設を会場に加藤てるみ後援会の設立総会を開催したところ、悪天候にも係わらず、多数の出席を戴きありがとうございました。規約、事業計画、予算等の審議、役員を選出などが行われました。役員は、準備委員の方々をお願いしたいと言う事で、私が会長に任命されました。重責で身が引き締まる思いです。十月一日には三町が合併して、「にかほ市」が誕生し、土俵が益々広がる訳です。我々が生活しているこの地域の過疎化に拍車がかからない為に、住み易く有り続ける為にも、今まで同様に、地元からの議員が不可欠であります。それには、地域住民が団結し、知恵や力を出し合い、前向きに進まなければと思います。会長として、役員はじめ皆様と一致団結して加藤議員を守り立て後援会活動を浸透させる所在であります。ご協力とご鞭撻の程、重ねてお願い致します。

加藤てるみ後援会会長

佐藤留吉

## あとがき

暑さ寒さも彼岸までと言われます。雪が消えるまでには、まだ間がありそうですが季節は春です。昔は四月一日にそれぞれに着ていた着物の綿を抜いたことから、「この日を綿抜の朔日(わたぬきのついで)」と言つようになり、冬から春への衣替えと言う意味でも使われたそうです。だんだん日差しが暖かくなり、夢がふくらむ季節が待ち遠しいです。